

■城戸四郎 映画製作者。近代的小市民映画路線確立し、〈敗戦〉前後の長い間、〔松竹〕に繁栄をもたらした。

きどしろう

日清戦争始・1894＝ 東京・築地木挽町生まれ。

日比谷公園・1903＝ 9歳：

日露戦争始・1904＝10歳：

日露戦争終・1905＝11歳：

明治天皇没・1912＝18歳：

ベルリン条約・1919＝25歳：東京帝大卒業後、国際信託会社に入社。

原敬首相暗殺1921＝27歳：

水平社結成・1922＝28歳：\_大谷竹次郎のすすめで松竹に入社、松竹キネマ株式会社取締役となる。

\_以後、一貫して松竹映画の指導者として活躍。

護憲三派圧勝1924＝30歳：\*蒲田撮影所所長に就任。

\*みずからシナリオを書くなどつねに製作の先頭にたち、庶民の日常を明るい笑いと健康な涙で描くという  
城戸イズムを浸透させ、近代的な小市民映画を確立する。

金融恐慌・・・1927＝33歳：

\_映画の発展に貢献する一方で、ホームドラマやメロドラマによる女性映画路線を定着させ、

海軍軍縮条約1930＝36歳：

満州事変・・・1931＝37歳：\_日本初のトーキー「マダムと女房」、

二二六事件・1936＝42歳：\_撮影所の大船移転にともない大船撮影所所長となる。

日中戦争始・1937＝43歳：\*「愛染かつら」が大ヒット。

第二次大戦始1939＝45歳：

日米開戦・・・1941＝47歳：

創価学会検挙1943＝49歳：\_戦時下の映画統制により、日本映画協会の専務理事となる。

敗戦・・・1945＝51歳：

新憲法公布・1946＝52歳：終戦にともない松竹に復帰、副社長となる。

新憲法施行・1947＝53歳：\_公職追放により松竹副社長を辞任。

極東裁判決・1948＝54歳：

朝鮮戦争始・1950＝56歳：\_追放解除により松竹に復帰。

独立回復・・・1951＝57歳：\_日本初の総天然色映画「カルメン故郷に帰る」を製作。

TV放送始・・・1953＝59歳：\*テレビドラマの映画化「君の名は」が大ヒット。

自衛隊発足・1954＝60歳：\_松竹社長となり、

国連加盟・・・1956＝62歳：「日本映画伝映画製作者の記録」刊行。

なべ底不況・1957＝63歳：

安保闘争・・・1960＝66歳：

相談役・副社長を経て、

TV宇宙中継始1963＝69歳：\_ふたたび社長に就任。

東京オリンピック 1964＝70歳：

いざなぎ景気1966＝72歳：

大阪万博・・・1970＝76歳：

ドルショック・・・1971＝77歳：\*社長を辞して、会長に就任する。

石油ショック1973＝79歳：

角栄金脈辞任1974＝80歳：\_日本映画の発展につくした功績により菊池寛賞を受賞して、

クアンプール事件1975＝81歳：

JALハイジャック・1977＝83歳：\_没した。